

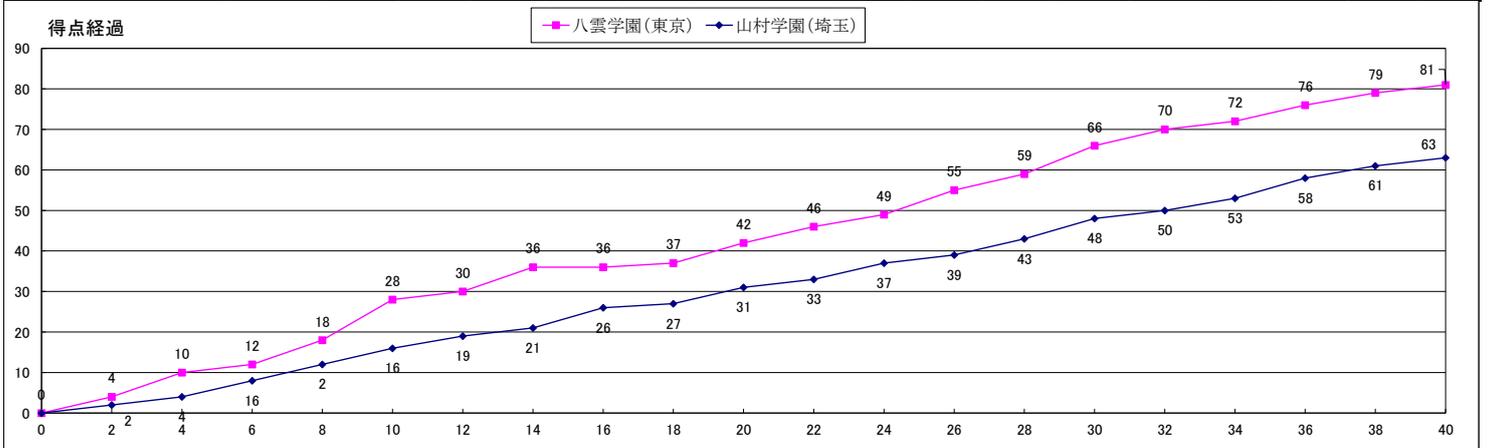
試合No.	A1	大会名	平成30年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第72回関東高等学校女子バスケットボール大会								
		期 日	平成30年 6月 9日(土)		会 場		カルッツかわさき				
女子1回戦	Ref	長谷川 裕			U1・U2		渡部 伸一・佐々木 寛子				
		チーム名			1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
		山村学園(埼玉)			16	15	17	15			63
		八雲学園(東京)			28	14	24	15			81

山村学園(埼玉)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
増田 茉央(CAP)	*4	6	0	0		1	6	17%	4	6	67%	1	2	1	0	0	3	4
加藤 未歩	*5	10	2	6	33%	2	5	40%	0	0		0	0	4	2	0	2	2
小林 みのり	*6	5	1	1	100%	1	2	50%	0	0		0	0	3	1	0	1	1
岡林 彩花	7	22	0	0		8	14	57%	6	6	100%	1	1	2	4	0	1	1
高木 結葉	*8	2	0	1	0%	1	8	13%	0	0		0	1	0	0	0	0	2
黒岩 菜々子	*9	12	0	0		6	14	43%	0	0		0	3	1	0	0	3	4
五十嵐 珠紀	10	0	0	0		0	3	0%	0	0		1	3	0	1	0	0	2
植松 晴香	11	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
遠藤 花瑠	12																	
宮下 綾	13	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		0	0	1	0	0	0	0
下地 梨紗	14	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
小竹 菜稚	15	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	2	0	0	0	0	0
吉井 歩美	16	2	0	0		1	8	13%	0	0		1	1	0	0	0	0	0
関川 凜音	17																	
梶田 彩華	18	0	0	0		0	3	0%	0	0		1	0	0	0	0	1	0
コーチ 土岐 敏郎																		
合計		63	3	9	33%	22	67	33%	10	12	83%	5	14	12	8	0	11	16

八雲学園(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
奥山 理々嘉(CAP)	*4	33	0	3	0%	15	20	75%	3	4	75%	4	8	2	2	4	3	4
小村 日夏理	*5	14	1	5	20%	5	18	28%	1	1	100%	4	4	2	1	3	7	4
栗谷 真帆	6	5	0	0		1	2	50%	3	4	75%	1	0	1	1	4	0	2
吉田 眞子	*7	6	0	4	0%	2	7	29%	2	2	100%	0	4	4	1	2	4	1
太田 咲里	*8	6	0	1	0%	3	8	38%	0	0		3	1	3	1	1	1	5
奥脇 彩柚子	*9	9	1	2	50%	3	7	43%	0	0		1	4	4	0	0	1	2
奥野 聖	10	8	0	2	0%	4	6	67%	0	0		0	0	1	0	0	1	0
宮下 愛弥	11	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	1	1	0
吉塚 ゆい	12																	
岡田 空	13																	
池本 里夏	14																	
埴 京華	15																	
原田 響	16																	
榑原 沙織	17																	
清水 乃梨花	18																	
コーチ 高木 優子																		
合計		81	2	17	12%	33	68	49%	9	11	82%	15	21	17	6	15	18	18



戦評

スタート 山村学園 #4#5#6#8#9 八雲学園 #4#5#7#8#9

1P 両チーム、マンツーマンで始まる。山村学園は激しいディフェンスでプレッシャーをかける。対する八雲学園は#4が開始直後から得点を量産しリードを得る。中盤、リバウンド、ルーズボールに粘りを見せる山村学園は#9のミドルシュートや#7の速攻などで食らいつく。終盤、八雲学園は#7や#8がゴール下で確実に得点しリードをじわじわ広げる。28-16で八雲学園がリードして1Pを終了。

2P このピリオドも山村学園はカッティングを多用し、フリーを作り得点を重ねる。対する八雲学園は#4がリバウンドを支配し、確実にリードを広げる。山村学園はインサイドへのダブルチームを仕掛け、ターンオーバーを誘発する。#7のフリースローが決まり点差を一桁にしたが、すぐさま八雲学園も#5がバスケットカウントで返す。42-31で八雲学園がリードして前半を終了。

3P このピリオド、山村学園#7がゴール下、3PTSで得点していく。八雲学園は#4が苦しい場面で確実に得点し簡単には譲らない。その後も山村学園は#7がミドルを決め、#6がリングに強くアタックし続ける。しかし、八雲学園は#4がファールトラブルになるが、#5が攻守に存在感を発揮し、リードを広げる。66-48で八雲学園がリードを広げて3P終了。

4P 点差を縮めたい山村学園は#5の3PTSや#8のドライブで得点するも、八雲学園は冷静にプレーし、#5の3PTSなどで点差を保ちながらゲームを進める。山村学園は最後まで懸命にプレーするも八雲学園の高さに対抗できず、81-63で安定したプレーを発揮した八雲学園が勝利した。